

事務局だより

2017年
12月5日
発行
第120号

事務局：441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1
豊橋技術科学大学 大学院工学研究科機械工学系
ロボティクス・メカトロニクス研究室 内
[Tel. 0532-44-6678(ダイヤルイン) Fax. 0532-44-6661]
[E-mail: sato@me.tut.ac.jp]
[URL:<http://ulpre-positioning.jspe.or.jp/>]

目次

1. 1月度定例会	p. 1
2. 小委員会	p. 3
3. これからの定例会予定	p. 4
4. 事務局より	p. 4

1. 1月度定例会

<主テーマ 日本の技術力の現状と課題>

天然資源を持たない日本にとって、技術力が現在の国力の源泉になっていることは疑う余地もないが、近年、大学や企業の現場における基礎技術力の低下が指摘され始めている。ここでは、日本の技術力の実情について事例を交えてご講演いただくことで、技術立国を標榜する日本の技術力の現状と課題について認識し、意見交換を行う。

なお、1月度定例会は佐藤隆太氏（神戸大学）のご尽力で企画されました。多くの皆様のご参加を期待いたします。

出欠の連絡は、Eメールで送信の「出欠確認票」にご記入の上、**1月5日（金）**までにご返信ください《期日厳守》。

【日 時】 平成30年1月19日（金） 13:00～19:00

【場 所】 東京理科大学（神楽坂）森戸記念館 地下1階 第一フォーラム
東京都新宿区神楽坂 4-2-2 ※3ページの案内参照

※ 当日の連絡先：090-3082-6639（事務局大橋 携帯）

— 小委員会 — 13:00～13:55

センサ小委員会を開催いたします。詳細は3ページ「小委員会」の欄をご覧ください。

— 講演会 — 14:00～17:00

主テーマ『日本の技術力の現状と課題』

(1) 14:00～14:50

[講師] 涌井 伸二 氏 (東京農工大学 教授)

[タイトル] 学生の失敗事例から学ぶ教育・研究への反省事項

[概要] 学生の無残な失敗が多く、その修復に時間が取られることを緩和するために「エンジニアのための失敗マニュアル (コロナ社)」を上梓した。ここでは、常識的なことを意外に知っておらず、モノに触る、観るという経験不足に起因する失敗が多いと分析している。そうであるならば、講義のとき、あるいは研究指導の場面で、ひと手間をかけて丁寧な解説や事例紹介を行えばよいと考えた。電子回路、制御工学、電気電子機器の講義におけるひと手間の内容、および配属学生に課した研究テーマの遂行での注意事項を紹介する。

(2) 14:50～15:40

[講師] 藤内 洋 氏 (三菱電機株式会社)

[タイトル] 技術職における OJT と失敗の活用

[概要] OJTは、技術職において重要な人材育成方法である。高度な専門技術者となるために学習は継続的に行われるべきであるし、業務経験からでなければ学べない事柄も多い。若手技術者にとって、設計・開発の職務遂行における課題は、技術力だけの課題ではなく、ナレッジの活用、管理技術等についても熟達させていく必要がある。若手の技術者をどのように熟達させていくか、神戸大学での非常勤講師の経験などを踏まえながら紹介する。

15:40～16:00 コーヒーブレイク

(3) 16:00～17:00

[講師] 大塚 二郎 氏 (静岡理工科大学 名誉教授)

[タイトル] ベストセラーとなったボールねじ駆動小型ナノステージ開発物語

[概要] 1990年からボールねじ駆動ナノ位置決め装置の開発に挑戦。2001年から6年間にわたり、小型ステージで実績を持つベンチャー企業と共同研究を行い、やがて1、5、10nm分解能ステージを開発し、商品化した。以降、X線顕微鏡、DNA操作、光通信調芯装置等、物理的・化学的な操作を行うナノテク領域で、このステージが市場をほぼ独占するに至った。その奮闘記を話す。最後に、小型工作機械用ナノステージ開発の失敗例も述べる。

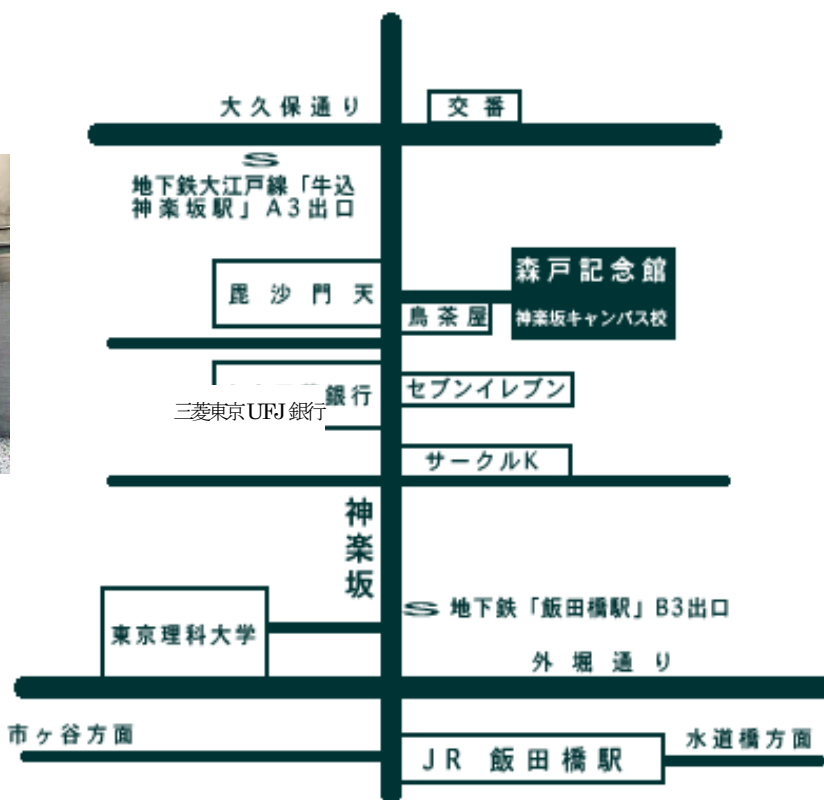
—懇親会— 17:20～19:00 (無料)

講師の方々にも参加していただく予定です。ご講演では伺えなかった質問もどうぞ。

森戸記念館 案内図



講演会 会場
地下1階 第一フォーラム



【交通】

- JR「飯田橋」駅西口より徒歩6分、
- 都営地下鉄・東京メトロ「飯田橋」駅B3出口より徒歩5分
JR、地下鉄「飯田橋」駅下車後、神楽坂商店街を約300m坂を上り直進、毘沙門天の向かい「福屋」と「鳥茶屋」の間の路地を右折、つきあたりが「東京理科大学・森戸記念館」
- 都営大江戸線「牛込神楽坂」駅A3出口より徒歩3分
都営大江戸線「牛込神楽坂」駅下車後、神楽坂商店街を飯田橋駅方面に直進、毘沙門天の向かい「福屋」と「鳥茶屋」の間の路地を左折、つきあたりが「東京理科大学・森戸記念館」

2. 小委員会

○センサ小委員会

[日 時] 1月19日(金) 13:00~13:55

[場 所] 東京理科大学(神楽坂) 森戸記念館 地下1階 第一フォーラム

[タイトル] CNC画像測定機の基礎と最新技術

[講師] 菅野 良平氏(株式会社 ミットヨ)

[概要] 画像技術を用いた座標計測システムであるCNC画像測定機は、非接触、高効率、高精度に測定が行え、電気電子産業や自動車産業等で扱う部品の測定、検査用として広く使用頂いている。近年、これら部品の測定要求は多様化しており、これに応えるためCNC画像測定機も多機能化している。本講演ではCNC画像測定機の基礎技術について、及び近年のユーザーニーズや技術動向を踏まえ、当社製品の最新技術を紹介する。

3. これからの定例会予定

- 2018年4月度 《計画担当：深田 茂生氏》
日 程：4月20日（金）
場 所：東京理科大学（神楽坂）森戸記念館
内 容：13:00～13:20 全体会議
13:30～17:00 講演会 《主テーマ》 未 定
講演会終了後 懇親会（無料）

【春季・秋季大会】

- ・2018年3月 精密工学会春季大会 OS参加 [於 中央大学 後楽園キャンパス]
日 程：3月15日（木）～17日（土）
- ・2018年9月 精密工学会秋季大会 OS参加 [於 函館アリーナ]
日 程：9月5日（水）～7日（金）

4. 事務局より

- 今年度の行事も、今回連絡する1月19日（金）に開催する定例会が最後になります。従来とやや異なった内容ですが、何かと示唆を受けるかと思われます。多くの参加者のあることを期待します。
- 残念なことです。11月末日までに、法人委員1社、個人委員1人の本年度会費が入金されていません。事務局より3回にわたる依頼をしてきています。本会の運営は、ほとんど会費に依存していることを理解していただき、速やかに入金されることをお願いします。
- 過日11月9日、10日に開催された地方定例会は、定員30名で募集をしましたが、最終的に31名の参加で実施しました。複数の法人委員から、3名以上で参加できないかとの問い合わせもあつたくらいでした。幸い好天にも恵まれ、金沢工業大学殿、株式会社松浦機械製作所殿、高松機械工業株式会社殿のいずれもご配慮ある対応をして下さり、参加者各位も満足されたものと思われました。それぞれの内容については、1月度の前刷集に掲載される報告記録に示されるように関連した講演、研究室や工場現場など興味のある内容で充実したものと感じました。
- 今回の地方定例会については、訪問先の設定、宿舎選定など、全面的に運営委員の羽山氏が担当されました。他の参加された運営委員各位もそれぞれ役割分担をしていただき、円滑な運営ができたことに感謝します。

（大橋 記）